

第1回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る 懇談会の開催状況について

1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の活用について、令和4年度末までに、実現可能性のあるアイデアを「活用の方向性」として、複数案取りまとめるため、第1回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会を開催したので、その内容について報告する。

2 現状・背景

建物の安全対策を早急に進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現するパターンを基に、建物3棟の安全対策に取り組む。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査に着手するとともに、指定を見据え、指定後に必要となる建物の管理・活用の方向性等を定める保存活用計画の検討を進めるため、有識者等で構成する懇談会を設置し、活用の方向性を取りまとめる。

3 概要

(1) 実施主体

県

(2) 日時

令和3年11月10日（水）14時30分～

(3) 場所

食品工業技術センター5階 大会議室（広島市南区比治山本町12-70）

(4) 実施内容

ア 出席委員

（敬称略，五十音順）

氏名	所属等	専門分野	出欠
あべ 部 良	安部良アトリエ一級建築士事務所 主宰 総務省地域力創造アドバイザー	建築	出席
おかだ 昌 彰	近畿大学 社会環境工学科 教授	景観工学 産業遺産	出席
さだ 渡 紀 子	広島修道大学 国際コミュニティ学部 教授	国際政治 平和学	出席
たなか なお と 人	熊本大学 熊本創生推進機構 准教授	公共空間 マネジメント	欠席
つみやま み さ	NPO 法人 ひろしまインターネット美術館 理事 特定非営利活動法人 PRESENTsHIROSHIMA 理事長	文化・芸術	出席
ひらお じゅん 平	特定非営利活動法人 ひろしまジン大学 代表理事	地域・ まちづくり	欠席
まえの やよい	広島市郷土資料館 主任学芸員	郷土史	出席
みつ い わたる 光 井 渉	東京藝術大学 美術学部 建築科 教授	日本建築史 文化財保存	出席

イ 会長の選任について

出席委員の互選により，会長を選任した。

会長：岡田昌彰（近畿大学 社会環境工学科 教授）

ウ 議題

懇談会の進め方やワークショップの進め方等について，議論を行い，了解を得た。

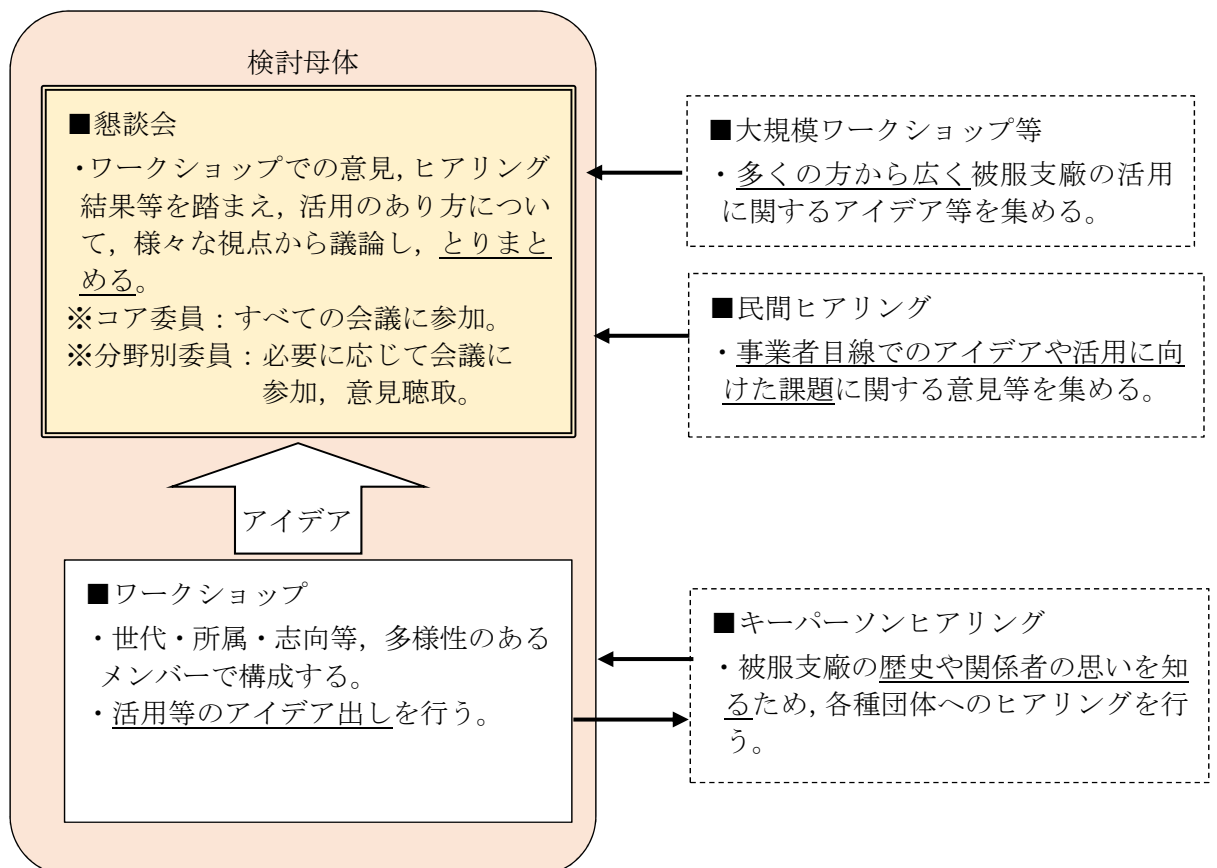
(7) 懇談会の進め方について

a 確認事項

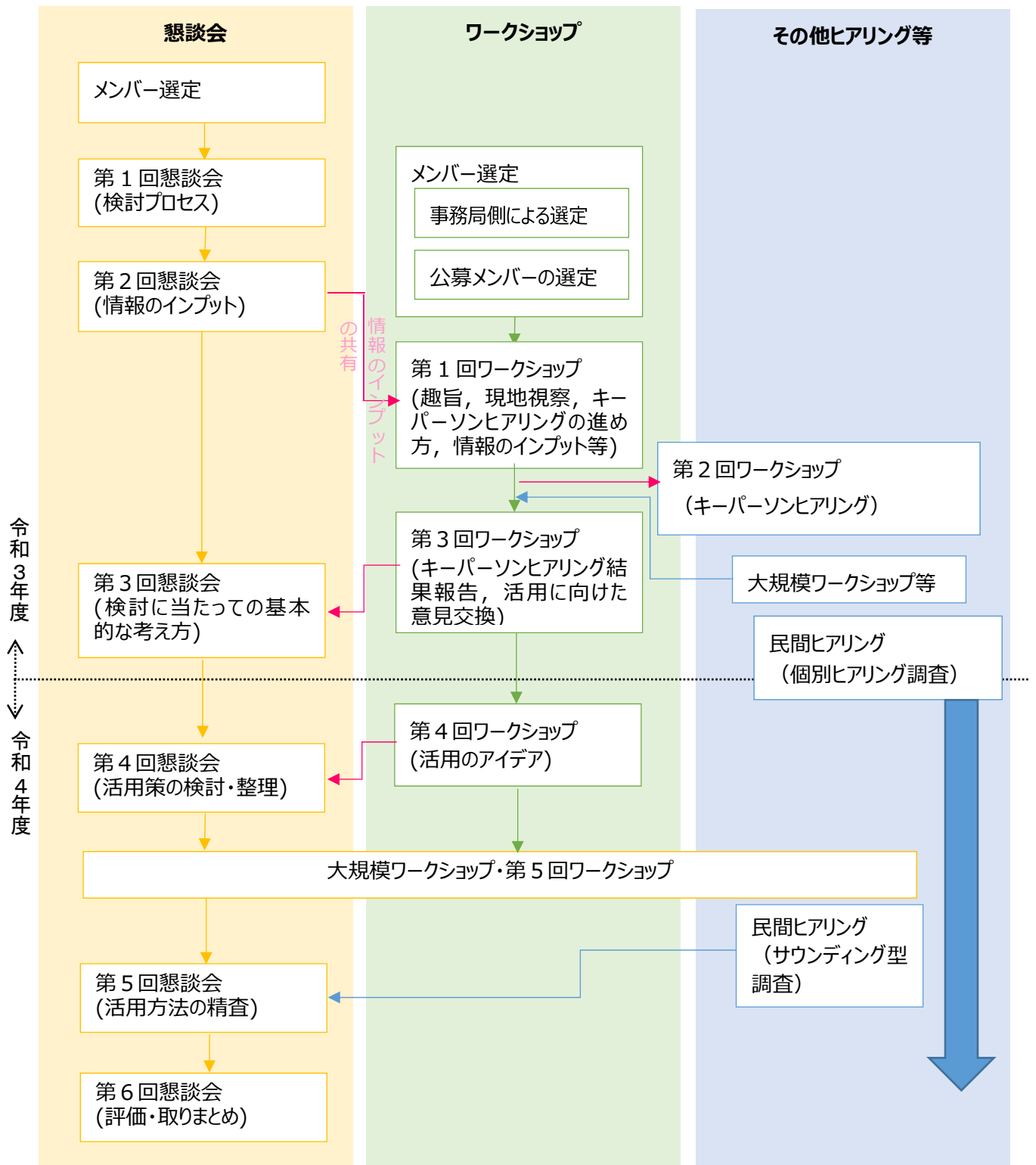
懇談会の進め方について，次のとおり了解を得た。

(a) 懇談会・ワークショップ等の目的・役割

- ・懇談会は，コア委員と分野別委員で構成し，ワークショップでの意見や民間ヒアリング結果等を踏まえ，様々な視点から議論して，活用の方向性として複数案を取りまとめる。
- ・ワークショップは，幅広い世代の県民で構成し，多様なアイデアについて意見交換を行い，懇談会へ報告する。また，キーパーソンヒアリングを行い，被服支廠の歴史や全国の活用事例などを踏まえて議論を行う。
- ・ワークショップに参加できない県民の意見を聞く場として，シンポジウムと組み合わせた大規模ワークショップ等を開催する。
- ・民間による活用の可能性を探るため，県がサウンディング調査や個別ヒアリングを実施する。



(b) 懇談会・ワークショップ等の進め方（イメージ）



(c) 懇談会の各回のテーマ（イメージ）

回	時期	議題	備考
1	令和3年 11月10日	検討プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ● 公正なプロセスであるかの確認、プロセスの決定 ● ワークショップメンバー公募資料の確認 ● 現地視察
2	令和3年12月～ 令和4年1月	情報のインプット	<ul style="list-style-type: none"> ● コア委員の専門分野からの話題提供（被服支廠の価値・地域の中の施設・巨大構造物の活かし方、建築物の活用事例 等） ● 分野別委員による話題提供 ● ワークショップの公募メンバーの選定
3	令和4年 2月～3月	検討のポイント・ 基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップで議論された活用に向けた意見，キーパーソンヒアリング，大規模ワークショップなどを踏まえ，活用に向けての基本的な考え方について意見交換 ● 分野別委員による話題提供
4	令和4年 6月下旬～7月上旬	活用策の検討・整理	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用のアイデア抽出・整理 ● 分野別委員による話題提供
	令和4年 9月下旬	大規模ワークショップ等	<ul style="list-style-type: none"> ● 懇談会，ワークショップ，その他関連者との意識の共有化 ● 評価・取りまとめ
5	令和5年 1月下旬～2月上旬	活用方法の精査	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野別委員による話題提供 ● 優先度，課題等についての意見交換
6	令和5年3月中旬	評価・取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の進め方についての意見交換 ● 取りまとめ

b 懇談会の進め方に係る委員からの主な意見

- ・ ワークショップなどで，多様な県民の意見を聞きながら検討を進める考え方は良い。
- ・ 建物の価値を懇談会・ワークショップで共有して検討を進めていく必要がある。
- ・ ワークショップ等に参加できない方々の意見を聴取する仕組みが必要である。

(イ) ワークショップの進め方等について

a 確認事項

ワークショップの進め方等について、開催回数や各回のテーマイメージのほか、ワークショップメンバーは、懇談会委員の推薦メンバーと公募によるメンバーにより50名程度で構成することや公募の進め方(別紙)について、議論を行い、了解を得た。

(a) ワークショップの各回のテーマ(イメージ)

回	時期	議題	備考
1	令和3年12月下旬～ 令和4年1月中旬	活用に向けた意見(1)	● 現地視察 ● 情報のインプット ● 活用に向けた意見の発表 ● キーパーソンヒアリングに関する説明
2	令和4年 1月～2月上旬	キーパーソンヒアリング	● 各種団体への意見聴取
3	令和4年 2月～3月上旬	活用に向けた意見(2)	● キーパーソンヒアリング結果の共有 ● 活用に向けた意見についてワークショップ
4	令和4年 5月～6月	アイデア発想	● 活用のアイデアに関するワークショップ
5	令和4年 9月下旬	大規模ワークショップ等	● 検討結果の発表等

b ワークショップの進め方等に係る委員からの主な意見

- ・ 全5回参加してもらうことで、アイデアの深堀ができる。
- ・ コロナ禍の中で、安全に開催するため、対面式とオンラインを組み合わせたワークショップの実施について、検討する必要があるのではないか。
- ・ ネット環境のない方々への参加募集の情報発信について、工夫する必要がある。

(ウ) その他

懇談会の公開・非公開について、委員による協議が行われ、原則公開で行うが、活用の具体的な意見交換等については、個人名や企業名などの固有名詞が出ることも想定されることから、非公開で行うこととされた。

参加メンバー募集!!

旧広島陸軍被服支廠の活用を考える ワークショップを開催します！

ワークショップの趣旨

「旧広島陸軍被服支廠」は、今から108年前の大正2年に竣工し、戦前は、陸軍兵士の軍服・軍靴等の製造と貯蔵を担っていました。

被爆直後は、被爆者の臨時救護所として使用され、戦後は、学校の教室や運送会社の倉庫などとして、活用されましたが、現在は、活用されないままとなっています。

この建物は、最大級の被爆建物であるほか、建物の価値は重要文化財級との評価も受けています。

今回、この建物の活用について、多くの方々と活用策を考えていくためのワークショップを全5回程度開催することとしています。

興味のある方は、ぜひワークショップに参加して一緒に活用策を考えてみませんか？

活用を検討する上で大切な視点

- ✓ 県民の皆様にとって必要とされる多様な分野での活用
- ✓ 立地条件や広大な空間を有する建物の特徴を活かせる活用
- ✓ 重要文化財級との評価がある建物の価値を大切にす活用

開催
時期

令和3年12月頃～令和4年12月頃

開催
回数

5回程度

開催場所
曜日・時間広島県庁及び県庁付近
平日夕方、土日祝を予定

募集人数 25名程度

参加申込書の記載内容を踏まえ、選定させていただきます。

なお、応募多数の場合は、抽選により選定させていただきますので、ご了承ください。

※本ワークショップにご参加いただけない場合でも、本ワークショップ以外に、多くの皆様からのご意見を伺う機会を設ける予定です。

※参加申込者には、12月下旬～1月上旬頃に参加の可否について、メールまたは文書にてお知らせします。

応募資格

- ・高校生以上の方
- ・全5回のワークショップに参加できる予定の方（オンラインでの参加も可能です）
- ・趣旨に賛同いただける方

申し込み方法 締切：令和3年12月15日（水）必着

参加を希望される方は、以下のいずれかの方法で申込をお願いします。

①参加申込書を記入の上、郵送、FAX、またはメールのいずれかの方法で「旧広島陸軍被服支廠の活用について考えるワークショップ担当宛」にご提出ください。

②18歳未満の方は、保護者の同意が必要ですので、参加申込書に記入の上、郵送でご提出ください。

③以下のURLもしくは二次元コードからも申込が可能です。

<https://questant.jp/q/T85HNRR0>

なお、申込の受付業務は、委託事業者であるパシフィックコンサルタンツ株式会社が実施します。

※参加申込書の送付先は裏面に記載しています。



スケジュール(全5回)

第1回	令和3年12月下旬 ～ 令和4年1月中旬	 <ul style="list-style-type: none">・現地視察・事務局からの情報提供・被服支廠についての意見交換
第2回	令和4年1月～2月上旬	 <p>各種団体への意見聴取</p>
第3回	令和4年2月～3月上旬	 <ul style="list-style-type: none">・第2回での意見聴取結果の共有・活用に向けた意見についてのワークショップ
第4回	令和4年5月～6月	 <p>活用のアイデアに関するワークショップ</p>
第5回	令和4年9月下旬	 <p>大規模ワークショップ 等</p>
		<p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none">◎交通費や参加謝金の支給はありません。◎ワークショップは原則公開で行います。 また、開催の様子は写真撮影等を行い、広島県の広報等に使用します。◎参加申込書の郵送をご希望の方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。◎スケジュールは、検討状況に応じて変更する可能性があります。

問い合わせ先

■広島県 経営戦略審議官 経営企画チーム (担当：水本, 野坂)
TEL：082-513-2346 Mail：soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp

■パシフィックコンサルタンツ株式会社(受託事業者) (担当：高木, 山本, 上野)
TEL：06-4799-7320 Mail：Hiroshima-hifuku-workshop@tk.pacific.co.jp

参加申込書送付先

■パシフィックコンサルタンツ株式会社(受託事業者)
〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-2-1 新ダイビル
TEL：06-4799-7320 Mail：Hiroshima-hifuku-workshop@tk.pacific.co.jp

旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ 参加申込書

私は、「旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ」の趣旨を理解し、参加を希望します。

申込者の情報			
お名前			
ふりがな			
年齢	歳	性別	
郵便番号			
ご住所			
電話番号			
メールアドレス			
※18歳未満の方は、保護者の方の同意（ご署名）をお願いします。 「旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ」に、上記の者が参加することを承諾します。			
保護者氏名：			

オンラインでの参加についてご希望をお聞かせください。（当てはまるものに○をつけてください）

- ①オンラインでの参加を希望する ②オンラインでの参加を希望しない ③状況次第

※参加申込書に記載いただいた個人情報は、本ワークショップの開催目的以外には使用しません。
※18歳未満の方は、保護者の方の同意が必要ですので、参加申込書に記入の上、郵送でご提出ください。

旧広島陸軍被服支廠について考えられる活用イメージを記載してください。

このワークショップへ参加を希望する理由など、ご自由に記載してください。

※上記に収まらない場合は、別紙でご提出いただいても問題ございません。